

公益財団法人日本海事センター

第56回理事会議事録

- 1 開催場所 海事センタービル「4階会議室」
- 2 開催日時 令和4年5月25日（水）11時30分～12時30分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 12名、定足数7名
- 4 出席理事 12名
（本人出席）宿利正史、平垣内久隆、下野元也、葛西弘樹、
竹中五雄、寺門雅史、徳留健二、藤丸明寛
（ウェブ出席）田村城太郎、伴野拓司、細川淳、山下友信
（出席監事）石川尚、阪本敏章、中本光夫
（議案説明及び報告）平垣内久隆理事長、下野元也常務理事、石川尚監事
- 5 議案 第1号議案「令和3年度年度事業報告及び附属明細書の承認」について
第2号議案「令和3年度年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」について
第3号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」について
第4号議案「「財産管理運用規程の改正」について
報告事項 ①第34回、第35回評議員会の決議内容について
②業務執行状況（令和4年4月～令和4年5月）について
③令和3年度の財産運用状況及び令和4年度財産運用計画について
て
- 6 会議の概要
（1）定足数の確認
冒頭で国安総務部長からウェブ出席の田村城太郎理事、伴野拓司理事、細川淳理事及び山下友信理事を含め定足数の充足を確認した。
（2）議案の審議状況及び議決結果
定款に基づき、宿利会長が議長となり議案の審議に入った。
また、議長は、定款第47条第2項の規定に基づき、議事録署名人は代表理事及び監事になる旨を告げた。
（決議事項）
第1号議案「令和3年度年度事業報告及び附属明細書の承認」について
第2号議案「令和3年度年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）」

及び附属明細書並びに財産目録の承認」について
議長の求めに応じ、下野常務理事から、第1号議案、第2号議案の説明が連続してあった。また、石川監事から監事監査の結果報告があった。

(徳留理事)

1. 一般正味財産は、過去から減少してきているのか。
2. IMO の海洋環境保護委員会で温室効果ガスの排出削減について、10年以上前から検討されており、まだ決着していないのか。それとも、別の議論を行っているのか。

(下野常務理事)

1. 一般正味財産は、毎年度減少してきている。今後は、図書館移転に伴う費用の削減もあり、調査研究事業収入の増加等で減少額を小さくしていきたい。
2. 温室効果ガスの排出削減については、IMO において、2018年にGHG削減戦略が採択され、2050年にはGHG総排出量の50%削減を目標とされており、短期的な取組としてのEEXI規制が提案され、さらに時期を早めて2050年までにゼロカーボンを目指す提案がなされており、新たな取り組みが進められている。

審議の結果、原案どおりウェブ出席の理事を含め出席理事全員一致で可決した。

第3号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」について
議長の求めに応じ、下野常務理事から、定時評議員会を下記要領により招集するため、定款に基づき本理事会にて決議したい旨の議案説明があった。

日時 令和4年6月9日(木)11時30分開催

場所 海事センタービル4階会議室

目的である事項

- ・令和3年度事業報告及び附属明細書の報告
- ・令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認

審議の結果、原案どおりウェブ出席の理事を含め出席理事全員一致で可決した。

第4号議案「財産管理運用規程の改正」について

議長の求めに応じ、平垣内理事長から、関連する報告事項の「令和3年度の財産運用状況及び令和4年度財産運用計画」とあわせて議案説明及び

報告があった。

(中本監事)

- ・令和3年度の財産運用状況について、劣後債で運用しているが、償還期限が無期限の債券と30年の債券があるが、違いがあるのか。

(平垣内理事長)

- ・劣後債については、償還期限まで保有することではなく、10年後の初回期限前償還を前提に購入している。この種の債券は10年を過ぎると利回りが大きくなる設定になっており、発行体は基本的に10年で償還する。

審議の結果、原案どおりウェブ出席の理事を含め出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

(1) 第34回、第35回評議員会の決議内容について

下野常務理事から、令和4年3月2日開催の第34回評議員会において、令和4年度事業計画及び収支予算等の承認及び令和4年5月12日の決議の省略による第35回評議員会において、評議員及び役員の選任が決議された旨報告され、了承された。

(2) 業務執行状況について

下野常務理事から、令和4年4月から5月までの調査研究・政策提言事業（公益目的事業1）、海事関係図書館の管理、運営事業（公益目的事業2）、海事関係公益活動支援事業（公益目的事業3）、海事センタービルの管理、運営事業（収益事業1）及び融資事業（収益事業2）等に係る業務執行理事の業務執行状況が報告され、了承された。

(竹中理事)

1. 業務執行状況の各種調査・分析事業については、文献調査なのか、国内コンサルを使った調査なのか。
2. 諸外国の海運政策調査及び船員政策調査の諸外国とはどこか。

(下野常務理事)

1. 文献調査や海外に法人をもつ税理士法人への委託調査、研究会等で実施している。
2. 税制関係は、ヨーロッパ、米国、韓国の税制の仕組みを調査、船員政策については、フランス、ベトナムを中心として調査。海運・物流の実態調査は、中国、韓国を中心に調査している。

以上をもって議案の審議等を終了したので、12時30分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和4年5月25日

代表理事 宿利 正史

監 事 石川 尚

監 事 阪本 敏章

監 事 中本 光夫